



【今日のテーマ聖句】

「そこで、王は答える。『はっきり言っておく。わたしの兄弟であるこの最も小さい者の一人にしたのは、わたしにしてくれたことなのである。』」

(マタイ 25:40)

2019年1月15日(火)

「利己的な人々は、不運な人々、また性格や階級が劣った人々のために働くことを恥であるとは思っていますが、そのような仕事を罪のない天使たちがしているのです。天に満ち溢れているのは、キリストの自己犠牲的な愛の精神です。天国の幸福の本質というべきものであって、キリストに従う者が持たなければならない精神であり、しなければならない働きなのです。」

(『キリストへの道』109、110 ページ)

「主よ、わたしにはできません。今度こそ、あなたは大きな失敗をしました。あなたのために働きたいとは思っています。でもここでは無理です。」

神様はわたしを、10代の子たちが高校卒業の資格を取り、職業訓練を受けるためのフリースクールに置かれました。これらの子どもたちのほとんどはホームレスであり、虐待の被害者であり、ギャングやドラッグ、売春にまで染まっている子どもたちです。わたしはこの20年間、クリスチャンスクールという安全な教育環境で教えてきました。この新しい役割は、自分が我慢できる領域を超えていました。

最初の日、学生たちは、ずり落ちそうなズボンに、フード付きの服で顔を隠して教室に入ってきました。そして、最初の時間に騒ぎが始まったのです。ある男子生徒が、他の2人の生徒を恫喝しました。今にもケンカが始まりそうで、どうしていいのかわからずにいました。怖かったです。罵詈雑言、やかましい音楽、コンピューターに映し出されるみだらな写真に、わたしは以前の守られた環境に戻りたいと願いました。わたしはここには合いません。狼の群れの中の子羊のような気持ちでした。嵐の中の弟子たちのように「主よ、助けてください」と泣き叫びました。

わたしはエレミヤ書を通読していたので、エレミヤにあたえられた神様の言葉で、静けさをこの教室にもたらしてくださいと主に祈りました。そして、尋常ではない勇気をもって「この教室では、そのような態度は許されません」と生徒たちに言い放ちました。その注意に彼らが静かに従ったのには、わたし自身、驚きでした。心の中で神様をほめたたえ、神様の憐れみと善良

さをほめたたえたのです。それからの数週間は、主に願い続けました。この環境からわたしを助け出してください。わたしがここに似つかわしくないことは明らかです。すると、神様は不思議な方法で祈りに応えてくださいました。それは、わたしの今の心の状態を示してくださることによってでした。

わたしがある生徒にコンピューターを教えたとき、彼が不思議な質問をしてきました。

「ジョディ先生、あなたはカリフォルニアのクリスチャンの学校から来ましたね」

「そうですよ」

すると彼は、「なぜわたしたちといっしょにいるのですか」と尋ねました。彼の質問は、わたしの心に突き刺さりました。主はわたしの心に「あなたはまだ、この場所で仕える心の準備ができていない。あなた自身が既存の偏見と恐れの間に行こうとしないのならば、わたしの愛を彼らに伝えるのにはふさわしくありません。あなたは彼らの人生に変化をあたえ、わたしの品性を表すためにここにいるのです」と語りかけられました。神様の言われていることは当たっていました。わたしにその愛の精神がなかったので、彼らに仕えていく心の準備が整っていませんでした。

わたしは生徒に答えました。「わたしはただ、あなたの人生を変えたいのだと思います」

その午後、再び似たような状況が起こりました。今度は女子学生です。それは、小さなことから始まりました。彼らに健康的な朝食を用意して、少なくとも1食を良い食事ですべて1日スタートできるようにしました。また、彼らのこれまでの人生を聞くことで、信頼関係を築くようにしました。彼らの苦しみと悲しみに入り込むことで、彼らの友人、また、相談役にもなることができました。

2004年に津波がアジアを襲ったとき、生徒たちはわたしがこの悲劇についてどのように考えているのかわかりたいと聞いていました。わたしは彼らに、津波は主の再臨の徴であることを話しました。教会に行き育ったことを鼻にかけていた一人の生徒が「それは、黙示録に書かれていますよね」と言いました。わたしはその聖

句を読んでくれるように促しました。イエス様がこの世界に準備するよう警告しているのだと話すと、生徒たちは真剣な表情でわたしの説明に聞き入っていました。そして、イエス様の再臨に備えるにはどうしたらよいか知りたいなら、わたしが後で教えますよと付け加えました。

その日の遅くに1人の女子生徒が「再臨について知りたいのですが」とわたしのオフィスにきました。わたしは彼女と彼女の子どもに対するイエス様の愛を語り、キリストを救い主とし

て受け入れるように導きました。それからというもの、わたしには、イエス様について生徒たちに伝える機会が何度もあたえられました。そして彼らをイエス様に導くことができたのです。

「神様は神様の子どもたちが導かれることを選ばない限り、彼らを導くことはなさいません。もし彼らが終わりから初めまで見通すことが出来たなら、神様と共に働く同労者として、その栄光の目的を果たしていることを見るでしょう。」(『闘いと勇気』英語版 278 ページ)

祈りの時間の進め方の提案

※集会の時間に合わせて項目を減らしても構いません

【賛美の祈り】

- わたしたちの苦しみに対して、あなたが敏感でいてくださることを賛美します。
- 賛美します。イエス様との関係を深め、信仰を育ててくださった方々を覚えます。
- 終わりのないあなたの誠実さを賛美します。

【告白の祈り】

どの罪を公に告白し、どの罪を個人的に告白すべきかを示してください。これらの罪へのあなたの勝利を求めます。

あなたの導きを疑ったことをお赦してください。

あなたが理由をもってわたしを置かれた難しい状況の中で、自分で道を見出そうとしたことをお赦してください。

恐れと偏見により、あなたの愛を分かち合わなかったことをお赦してください。

【嘆願と執り成しの祈り】

- 弱い子どもたち、10代の子どもたちのために祈ります。彼らを搾取する者からお守りください。
- ホームレスの子どもたちのお世話をする方々に、同情と優しい助けと言葉をあたえてください。
- インターヨーロッパ支部の20の国々の806の民族に都市伝道の一環として、開拓教会を建て上げるための宣教師を見出してください。
- この祈りのときに教会員の心にある重荷についてお祈りします。
- 祈りのカードに書かれている7名の方々の名前をお祈りします。神様、あなただけが、わたしたちの友人、家族、同僚が経験しているすべての状況をご存じでおられます。あなたの道に導き、あなたに近づけさせてください。

【感謝の祈り】

- あなたの変わらない愛と憐れみに感謝します。
- 神様、優しさをもっていつもわたしたちを見守ってくださっていることを感謝します。
- わたしたちの弱さに対してのあなたの理解と同情を感謝します。

【日本の伝道のための祈り】

- 昨年、日本における全員参加伝道でまかれた真理の種のために。
- 日本のために働き、そして祈る、働き手を送ってくださいますように。

【推奨する讃美歌】

希望の讃美歌 229 番「われらの宝」
希望の讃美歌 238 番「いともかしこし」
希望の讃美歌 239 番「罪に沈み」
日基讃美歌 368 番「つとめいそしめ」
日基讃美歌 504 番「みのれるたのも」

【神様の約束】

- 「弱者や孤児のために裁きを行い／苦しむ人、乏しい人の正しさを認めよ。弱い人、貧しい人を救い／神に逆らう者の手から助け出せ。」（詩編 82：3、4）
- 「主はこう言われる。捕らわれ人が勇士から取り返され／とりこが暴君から救い出される。わたしが、あなたと争う者と争い／わたしが、あなたの子らを救う。」（イザヤ 49：25）
- 「みなしごや、やもめが困っているときに世話をし、世の汚れに染まらないように自分を守ること、これこそ父である神の御前に清く汚れのない信心です。」（ヤコブ 1：27）